

(別紙5-1)

危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)に係る居住者の退去状況等<sup>(注1)</sup>

(平成18年1月23日17時現在)

	総入居戸数 <sup>(注2)</sup> (当初)	うち退去済	うち入居中			
			1月中退去予定	2月1日以降退去予定又は退去日未定	その他	
分譲 (10棟)	288戸	195戸 (17)	93戸 (-17)	39戸 (-19)	50戸 (3)	4戸 (-1)
賃貸 <sup>※</sup> (6棟)	185戸	185戸	0戸	0戸	0戸	0戸
計 <sup>※</sup>	473戸	380戸 (17)	93戸 (-17)	39戸 (-19)	50戸 (3)	4戸 (-1)

(注1)「危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)」とは、 $Q_u/Q_{un}$ (保有水平耐力/必要保有水平耐力)値が0.5未満であり、震度5強程度の地震で倒壊するおそれがあるものをさす。

(注2)空室を含めると、総戸数は分譲308戸、賃貸200戸の合計508戸

※ 「(仮称)石川台ハイツ」は危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)であるが、退去状況等が未報告であるため合計値には算入していない